

事業の基礎情報

実施主体	わじま次世代交通ネットワーク協議会
事業実施地域	輪島市
共創の類型	官民共創 ・ 交通事業者間共創 ・ 他分野共創
他分野共創の類型	医療・介護・福祉 ・ 地域・移住 ・ 観光・まちづくり
共創パートナー	輪島市 ・ 輪島市社会福祉協議会 ・ 北鉄奥能登バス株式会社 ・ 輪島市タクシー事業者会 株式会社まちづくり輪島 ・ 次世代型交通システム推進協議会
運行形態	AIデマンド交通
運行主体	北鉄奥能登バス株式会社 ・ 輪島市タクシー事業者会

取組の概要

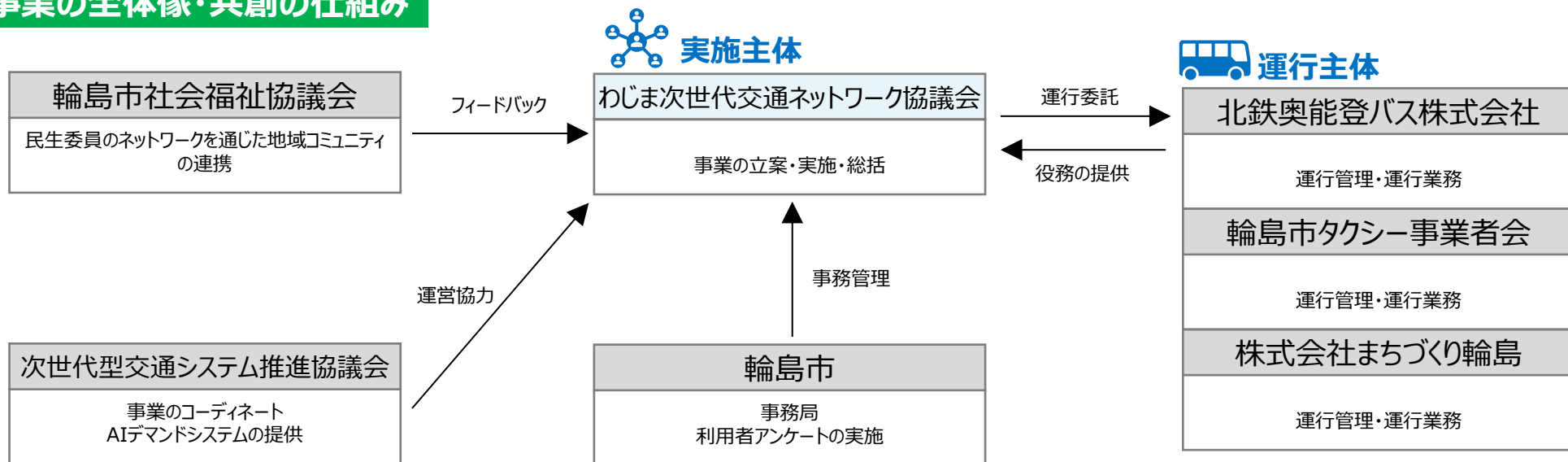
（現状の地域課題と事業目的）

能登半島地震の影響によりこれまで生活していた地域からの避難や、分散して別の地区の仮設住宅への入居を余儀なくされ、昔から続く地域コミュニティの分断が懸念されている。また被災により自家用車等を失った住民も多く、今後の移動様式に大きな変化が生まれることが想定される。また、交通事業者も多くが被災しており、運転手や車両の確保が困難であることから、AIデマンド方式により人的・物的資源の有効活用を図る。

（事業の概要）

地域の区長や民生委員を橋渡し役としてコミュニティ活動等の各種行事を積極的に行うことで、不慣れな土地で孤立しがちな高齢者を中心に外出の機会を設けるとともに、交通事業者が気軽に利用できる交通サービスを提供する。

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

(地域の関係者との連携・協働)

関係者が相互に支え合うことで持続可能な地域コミュニティの確立に寄与する。

【利用者】外出機会の増加→地域コミュニティの維持

【交通事業者】利用者の増加・運転手の安定雇用→事業継続性の確保

【小売店・医療機関】利用客の増加→経営の安定

【地域全体】輪島に住み続ける、戻ってくる意識の醸成

(実証事業により見込まれる効果)

気軽に外出できる環境を整えることにより、被災した地域のコミュニティを維持しつつ、市外への避難者が安心して戻ることができるまちづくりに寄与する。

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)

	2024年							2025年		
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
輪島市	共創プラットフォーム打ち合わせ	関連団体との連携調整・管理事務							事業報告	
(社福) 輪島市社会福祉協議会		民生委員のネットワークを活用したコミュニティ活動							経費精算	
北鉄奥能登バス（株）		AIデマンドバス運行 (7月：慣熟走行、8～1月：実証運行)								
輪島市タクシー事業者会										
次世代型交通システム推進協議会		全体コーディネート・AIデマンドシステム提供)								

(補助事業実施後の予定)

実証終了後は得られたデータを基に本格運行に移行する。